

## 令和5年度 事業報告

### I 新しい但馬づくりを担う人材等の育成に関する事業

但馬の多彩な魅力を再認識、再発見することにより、新しい但馬づくりを担う人材を育成するため、次の事業を行った。

#### 1 未来を担う人材育成事業

住民が主体となった地域活性化を推進するため、幅広い年代を対象とした地域づくりの人材育成を展開した。

##### (1) たじま未来づくり講座の開催

但馬の自然・歴史・文化など多様な地域資源を活用した、但馬を知る学びの場を提供し、明日の但馬を担う人材の育成と裾野の拡大を図るため 15 講座を実施した。

- ① 期 間 令和5年4月29日～12月3日
- ② 会 場 養父市立ビバホールほか但馬各地
- ③ 受講者数 89人
- ④ 講座内容 12日間 15講座

(共通講座(座学): 8回、選択講座(現地): 7回)

開催日	内 容
4/29(土) 〈座学〉	共通① 子どもを地球に連れ出して ～地球体感キャラバン【命】の旅～ 講師 高森 拓也氏 (子ども NGO「懐」代表) 共通② パラリンピックが与えてくれた私の役割 講師 田渕 伸司氏 (北京パラリンピック 2022 パラスノーボード日本代表)
5/13(土) 〈現地〉	選択① 神秘の清流・清滝の溶岩流 豊岡市日高町清滝
5/27(土) 〈現地〉	選択② 天空の城・竹田城跡 朝来市和田山町竹田
6/24(土) 〈座学〉	〈特別講座〉 芸術文化観光専門職大学より講師を招いて 共通③ 芸術文化と観光の架橋による地域創生 共通④ 共生社会をめざすドイツの文化政策と劇場システム 講師 藤野 一夫氏 (芸術文化観光専門職大学 副学長)
7/30(日) 〈座学〉	共通⑤ たじま・まちづくりカフェ ～身近な地域づくりを考える～ アドバイザー: 山室 敦嗣氏 (県立大学大学院地域資源マネジメント研究科 教授) 事例報告: 開かれたコモンズの利用と管理 ～ハチ北高原の事例から～
8/5(土) 〈現地〉	選択③ 南但馬をめぐる魅力再発見ツアー ～日本遺産「鉱石の道」めぐり～ 明延鉱山、生野銀山、神子畑選鉱場跡 (バスツアー)

8/26(土) 〈現地〉	選択④ 北但馬をめぐる魅力再発見ツアー ~山陰海岸ジオパーク・魚調理体験~ ジオパークと海の文化館、今子浦海岸、但馬国府・国分寺館等 (バスツアー)
9/9(土) 〈現地〉	選択⑤ 「湯村温泉」の歴史・文化 新温泉町湯
9/30(土) 〈現地〉	選択⑥ 木と自然から生まれた文化 香美町村岡区和池
10/21(土) 〈現地〉	選択⑦ 幕末・明治を歩んだ北垣国道 養父市能座
11/4(土) 〈座学〉	共通⑥ 歴史・文化を活かした地域振興 ~但馬は日本の土木の聖地~ 講師 田辺 真人 氏 (県立兵庫津ミュージアム名誉館長) 共通⑦ 但馬に移住して5年 ~新天地「但馬」での新たなチャレンジ~ 講師 河合 美智子 氏 (俳優・歌手・たじま観光大使) 峯村 純一 氏 (俳優)
12/3(日) 〈座学〉	共通⑧ 第18回 但馬検定



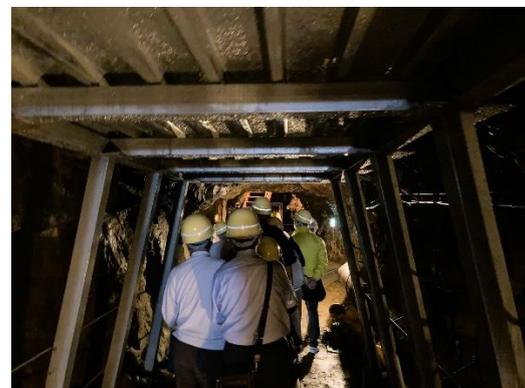
イカの調理体験 (香美町香住区香住)



溶岩流を見学 (豊岡市日高町清滝)



竹田城跡を散策 (朝来市和田山町竹田)



明延鉦山坑道を見学 (養父市大屋町明延)

## (2) たじま未来探検隊の実施

但馬の将来を担う子どもたちに、但馬の産業、優れた技術を持つ企業、地域資源を利用した活動等について学ぶ機会を提供し、地元への愛着や誇りに思う心をはぐくみ、但馬に住み続けたい、将来但馬に戻りたいという気持ちを醸成するために実施した。

- ① 実施日 令和5年8月7日、18日
- ② 内容 但馬牧場公園でソーセージ作り体験と但馬牛博物館の見学  
湯村温泉街の散策と荒湯プリン作り体験
- ③ 参加者 76人（小学校4～6年生、保護者）



ソーセージ作り体験



荒湯プリン作り体験

## 2 但馬検定事業

但馬の自然・歴史・文化などを幅広く楽しく学ぶことで、地域の魅力を再発見し、但馬内外にその魅力を発信する機会として実施した。

### (1) 第18回但馬検定の実施

- ① 試験日 令和5年12月3日
- ② 試験場所 県立但馬長寿の郷、豊岡稽古堂
- ③ 試験結果

※（ ）は前回数値

問題100問 100点満点	上級の部（1級・2級共通）		初級の部	計
	1級(80点合格)	2級(60点合格)	3級(70点合格)	
受検者数	37人(32人)	23人(18人)	34人(63人)	94人(113人)
合格者数	17人(16人)	17人(11人)	25人(52人)	59人(79人)
合格率	45.9%(50.0%)	73.9%(61.1%)	73.5%(82.5%)	62.8%(69.9%)
平均点	76.9点(78.4点)	66.1点(62.3点)	77.4点(80.3点)	
最高点	94点(93点)	94点(88点)	98点(99点)	
最年少合格者	42歳(41歳)	26歳(42歳)	21歳(17歳)	
最高齢合格者	79歳(78歳)	72歳(72歳)	81歳(74歳)	



豊岡稽古堂試験会場



但馬長寿の郷試験会場

#### ④ 特 徴

- ・前々回より開催を9月から12月に変更して実施している。
- ・当日9名欠席ということもあり、3級試験の受検者が大幅に減っている。
- ・逆に、下位級の合格者で構成される1・2級の受検者は前回より増加したので、今後も12月開催を定着させ受検者数を確保していきたい。

#### (2) ウェブサイト「ザ・たじま」の運営・活用

但馬検定公式サイトを活用し、子どもを含めた幅広い世代が但馬の地域情報を楽しみながら学べる機会を提供した。

- ① ウェブ版但馬事典「ザ・たじま」の情報更新
- ② 講習動画や過去問等の但馬検定関連情報を提供
- ③ ウェブで体験できる模擬試験や、小中学生でも楽しく学べるミニクイズ「たじま知ってQ」を掲載

#### (3) ふるさと出前講座の実施

- ① みてやま学園の受講生を対象に、但馬検定の模擬試験と解説を実施し、但馬を楽しく学ぶ但馬検定をPRした。

- ・実施日 令和5年7月4日
- ・場 所 但馬文教府
- ・参加者 17人

- ② 小学生を対象として、ウェブサイト「ザ・たじま」内のクイズコーナーを活用した出前講座を実施し、ふるさと教育を実施した。

- ・実施日 令和5年10月26日、令和6年3月11日
- ・場 所 新温泉町立浜坂南小学校、養父市立建屋小学校
- ・参加者 9人(小学校5年生)、13人(小学校3・4年生)



浜坂南小学校



建屋小学校

#### (4) 但馬検定テキストブック「ザ・たじま」の改訂

現行の「ザ・たじま」を発行してから5年が経過することから、掲載内容を更新し改訂版の冊子を発行した。(令和6年3月29日、1,000部作製)

## II 交流促進による新しい但馬づくりに関する事業

但馬地域内外との交流促進や地域情報の発信等を通じ、交流・移住人口の増加、地域活性化及び観光振興を図るため、次の事業を行った。

## 1 地域情報発信事業

各種広報媒体を多角的に活用し、観光・自然・イベント・ニュースなど但馬に関するあらゆる情報をタイムリーかつわかりやすく提供した。

### (1) ウェブサイト「但馬情報特急」の運営

ウェブサイト「但馬情報特急」を活用し、但馬のポータルサイトとして、但馬に関する最新の情報、魅力ある情報を多分野にわたり収集し、提供した。

- ① 掲載内容 イベント、ニュース、募集、季節ごとの特集記事（毎月のイベント情報、桜・夏祭り・紅葉・スキー場の情報等）
- ② ページビュー数 876,026 件（前年度：1,040,214 件）
- ③ ユーザー（訪問者）数 476,523 人（前年度：542,826 人）

### (2) 情報誌「T2」の発行

但馬の魅力あふれる地域資源や取組をクローズアップするとともに、観光・イベント等の旬な情報を掲載した、但馬の魅力を紹介する情報誌を発行した。

- ① 発行時期 年3回〔夏号（6月）、秋冬号（10月）、春号（2月）〕
- ② 発行部数 各7.4万部
- ③ 配布先 但馬全戸、但馬ファンクラブ会員、同協賛施設、旅行会社、報道機関、金融機関など



### (3) 但馬ツーリズムマップの発行

交流人口を拡大するため、但馬の周遊観光に便利な、但馬の魅力・見どころをまとめた観光マップを発行した。

- ① 部数 17,500 部
  - ② 配布先 観光協会、道の駅、観光施設、宿泊施設など
- ※ 掲載内容を更新し、令和6年3月に改訂版（Vol.16）を作製



## 2 但馬ファンクラブ事業

但馬の魅力をもPRし、地域内外の住民の交流促進、地域活性化及び観光振興を図るため、但馬ファンクラブ事業を実施した。

### (1) 加入状況

	但馬内	但馬外				合計	1年 会員	3年 会員
		県内 (但馬除く)	近畿内 (県内除く)	近畿外	小計			
R5.3末	731	492	238	148	878	1,609	718	891
R6.3末	713	562	262	140	964	1,677	809	868
増減	△18	70	24	△8	86	68	91	△23

### (2) 但馬ファンクラブの運営

但馬を楽しんでいただくための会員へのサービスを実施した。

- ① 会員パスポートを発行し施設利用の割引サービス等を提供。(R6.3月末217施設)
- ② 但馬の情報誌等(T2、パンフレット)の送付(年3回)
- ③ 但馬の特産品等のプレゼント
  - ・年3回、抽選で計150名が当選(応募総数1,144名)
- ④ 但馬内のミュージアム等無料招待券の配付
  - ・実施期間 4月1日～11月30日
  - ・対象施設 玄武洞ミュージアム、たじま高原植物園 ほか7施設
  - ・利用者数 337人



ミュージアム無料招待券



但馬の特産品プレゼント賞品

### (3) 入会のPR活動

会員獲得のため、キャンペーンや各種事業とのコラボレーションを実施した。

- ① 新規入会キャンペーンの実施
  - ・新規会員紹介キャンペーンの実施(6～8月)
  - ・みてやま学園でのPR(7月4日)
  - ・但馬空港「空の日スペシャルイベント」に出展(10月22日)

- ② 播但道キャンペーンの実施
  - ・サービスエリアを利用したスタンプラリーの賞品として会員パスポートを贈呈（12～2月）
- ③ 関係機関、関連事業とのコラボレーション
  - ・たじまわるの乗客に抽選で会員パスポートを贈呈
  - ・マラソン大会抽選会の賞品として会員パスポートを贈呈
  - ・但馬検定合格者（上級）への特典として会員パスポートを贈呈
  - ・T2クイズ当選者に会員パスポートを贈呈

### 3 たじま田舎暮らし推進事業【但馬県民局委託分】

但馬地域への移住・定住を促進するため、「たじま田舎暮らし情報センター」を運営し、移住希望者への情報提供や支援事業を実施した。

#### （1）移住相談員の配置

移住相談員を配置し、U・Iターンを考えている方への移住相談や各市町、関係団体と連携した移住支援を行った。

- ・相談件数 319件

#### （2）オーダーメイドツアーの実施

但馬地域への移住や2拠点居住を具体的に検討している方を対象に、住まい、仕事、生活、子育て環境等の個々のニーズに応じた現地案内を実施した。

- ・実施回数 27回

#### （3）田舎暮らし情報の発信

たじまU・Iターン情報サイトや移住マッチングサイト、若者向けのウェブサイト等を活用して、たじま暮らしに関する情報を提供した。

- ① ウェブサイト「ひょうご北部で暮らす」やSNSによる情報発信
- ② 移住マッチングサイト「SMOUT」を活用した情報発信
- ③ 但馬の若者による若者向けのウェブサイト「20GRAPHIE」による情報発信
- ④ 移住イベント等における情報提供

#### （4）移住相談会等の実施・出展

各種団体が主催する移住・定住イベントに出展するとともに、県民局、市町、関係団体等と連携した移住促進事業を実施した。

- ① 移住イベント等への出展
  - ・ふるさと回帰フェアほか9回（東京、大阪、オンライン）
  - ・相談件数 190件
- ② 二十歳の記念無料フォトイベント「20GRAPHIE」の実施
  - ・実施日 令和6年1月7日
  - ・内容 朝来市のイオン和田山店に特設会場を設け、二十歳を祝う会参加者への無料撮影会を行い、Uターン情報を発信する当センターのLINE登録を促した。
  - ・参加者 96人

③ 移住者交流会「新しい温泉のつどい」の開催

- ・実施日 令和6年3月9日
- ・内容 新温泉町にて、先輩移住者によるプレゼン大会や移住者交流カフェを実施した。



ふるさと回帰フェアの様子 (9/17 東京フォーラム)



移住者交流会 プレゼン聴講の様子

(5) 仕事探しのサポート強化

移住希望者の仕事探しの支援を強化するため、専属コーディネーターを配置し、企業見学や就労体験、先輩移住者へのヒアリング等、個々の希望に応じた体験ツアーを実施した。

- ・実施回数 11回
- ・内容 豊岡靴、農業、林業等の仕事と暮らし体験



かばんづくり体験 (ミシン) 豊岡市



香住なしのなし園 (香美町)

Ⅲ 会議の開催

公益財団法人但馬ふるさとづくり協会定款の規定により、理事会及び評議員会を開催した。

1 理事会

(1) 第69回理事会

- ・期日 令和5年5月24日
- ・場所 豊岡健康福祉センター

(2) 第70回理事会

- ・期日 令和5年7月7日
- ・場所 定款第30条2項の規定に基づく決議の省略による書面決議

(3) 第71回理事会

- ・期日 令和6年2月13日
- ・場所 豊岡健康福祉センター

## 2 評議員会

(1) 第28回評議員会

- ・期日 令和5年6月28日
- ・場所 豊岡健康福祉センター

(2) 第29回評議員会

- ・期日 令和6年3月7日
- ・場所 豊岡健康福祉センター